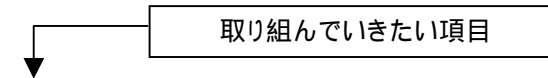


地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	・理念 = 個々の人生感を大切にする	
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	・毎月、全スタッフでミーティングをする ・理念に近づくよう反省点、注意点を述べる	・業務カンファレンスとは別に長期的展望にたったカンファレンスを3ヶ月に1回開催し、理念の共有を図りサービスの質の向上に繋げていきたい
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	・管理者は町内会に入会	
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	・町内会に参加している	・近隣公園への散歩や買い物外出時に積極的に挨拶をする ・事業所を開放した季節行事の開催
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	・近所の方との挨拶は必ずする ・月1度の廃品回収時、廃品を出す ・町内会のもちつき大会やお祭りなどに参加 ・町内会の廃品回収にはリサイクル資源を出す ・町会から回覧板を出してもらい救急救命講習会(消防署依頼)を開催しました	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	・ボランティアで歌手の方がきて頂いた際地域の方にも来てもらう様呼びかけた ・町会から回覧板を出してもらい救急救命講習会(消防署依頼)を開催しました		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・全スタッフが自己評価に取り組んでいる		・平成19年4月開設のため、今回、初めての外部評価となっています ・今回の結果を踏まえ、より良いサービスの提供に努めます ・問題点はこれからの課題としてカンファレス等で検討する
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・運営推進会議を実施していない		・今後、会議開催に向け鋭意努力してきます
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	・疑問等が生じた時には、担当者へ相談、質問しています ・不明な点があれば積極的に市と相談しています		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	・成年後見制度等についての勉強会などは行っていない		・講習会などの告知をして機会を作っていきたい
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会はない		・ミーティング等で常に検討し意識を高め防止していききたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4.理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>・契約時、解約時は担当者より重要事項説明書を用いて懇切、丁寧に説明をしている</p> <p>・特に金銭面や契約解除は十分に説明しています</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>・利用者の意見、不満、苦情を聞き入れ、どのように生活したかを把握し、ご家族と話し合いそうように努めている</p> <p>・目安箱(ご意見箱)を設置している</p>	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>・月1度の便りとTEL報告をいれてる</p> <p>・お小遣い帳を付けている</p> <p>・面会時、日常の生活を口頭にて報告している</p>	<p>金銭管理について、今後は月に1度は出納帳にご家族のサインを頂く</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>・玄関にご意見箱を設置している</p>	<p>まずは家族会を発足させたい</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>・月1回、グループホーム会議を行っている</p> <p>・職員は自分の意見や希望を述べる</p>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>・柔軟な対応が出来る様に勤務時間調整する事がある</p> <p>・ローテーションを組んでスムーズに行えるようにしている</p> <p>・職員病欠の場合には代替りのスタッフが交代している</p>	<p>現在、管理者もシフトに組み込まれているが、フリーな立場となれるよう人員を補充したい</p>
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>・開設1年であり左記に配慮した人員配置を行っている</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・母体施設にて定期的に内部研修を行っている ・外部の研修の案内資料を掲示してあるので各自で行っている 	
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ地域の先輩グループホームに相談や質問を通じて交流、勉強会に参加している ・埼玉県グループホーム協議会に入会し、研修会に参加している ・外部部研修会に参加し、同業者の人と交流を持つ機会があり、そこで知り得た知識を役立てている 	
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員のちょっとした言動に注意をし、必要と感じた時は会話を設ける ・職員と一体になって場を盛り上げ和むようにしている ・独立した休憩所が設けてある 	
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の個々のやる気・努力等に目を向け、長所を伸ばし短所を克服できるようにしている ・スタッフ各自が自らの長所、短所を自己分析している 	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス利用前には必ず本人と面接している ・本人から話があった場合は傾聴に心掛け、ニーズの把握に努める 	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用相談、見学時には必ず家族の要望を聞いている ・本人よりも家族の意向を聞いてしまうことがある ・上記同様、傾聴 ニーズの把握に努める 	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・入居相談時「病院入院中で在宅に帰りたいのですが…」との要望あったケースに対しては、グループホームの主旨を説明し老健の提案をしたことがある ・初期ニーズの把握のため、相談記録および面接に重点をおき、ケアスタートが円滑になるよう努めている		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	・混乱がみられる利用者様には利用者、家族がどのような事をしてほしいか話をきいてそれに沿う様工夫しすすめている ・声かけの重要性を共有するよう努めている		・少しでも馴染んで頂けるよう短時間でも過ごせる機会を作りたい
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	・本人の言いたいことを素直に聞くようにし、洗濯物干し、料理、食事、盛り付け方について教えるようにする ・職員と共に何かすることが多い ・フロアの飾り付けを一緒に作成する ・入居施設ではなく、家庭の延長を念頭にサービス提供に努めている。		
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	・家族の方が来たときは話をよく聞き、こちらの様子も詳しく報告する。		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	・面会の回数が少しでも多くなるようお願いする ・外食、外泊(正月、盆)を勧めるようにする ・面会時間が長くなるよう職員も参加したりする ・昨年はクリスマス会を、ご家族参加のもと開催しました		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・ご家族を初め、親しい方々の来訪を自由に行っている又、ご家族に電話をしたいと希望があれば電話も自由にしてる		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	・気の合わない方々は、食事の席を離したりして少し距離をおく ・洗濯物を皆さんでたたんでもらう ・この服は誰の? など会話しながらおこなっている ・レク、体操		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	契約終了後も、イベント等に参加してもらえる様に声をかけ実際にクリスマスパーティーには、ご家族様に参加願えた		
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・1対1で話しをしてどのような生活を送りたいか希望を聞いている又、日常の会話を通して普通思っていることを把握		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・ご本人やご家族に話を聞く ・ちょっとした会話の中から知らなかった生活歴を話されることもあるので早く利用者と馴染めるようにしている ・入居時に生活歴を記入してもらう		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	・その日に行った事柄、発言を記録に残し、勤務日以外の日のことも把握できるようにしている ・「できること・できないこと」の把握をする		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	・ご本人、ご家族に希望を聞き、その事柄をふまえて作成している		
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	・常に利用者の状態や家族等の意見を聞き、介護計画がスムーズに施行できる様努め必要に応じ見直しをする様にしている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>・利用者の意見、不満、苦情を聞き入れ、ご家族と話し合い そうように努めているちょっとした変化等を常に申し送りに書き込み職員が把握する様にしている</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>・草加松原整形外科医院、同青柳分院への通院送迎をサービスでしている</p>		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	<p>地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>・民生委員(草加・西部)の方に施設見学をしていただいた</p>		<p>・ボランティアの方が来ていただける様働きかけていきたい</p>
41	<p>他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>・町内会のイベント(夏まつり、盆踊り、餅つき大会)物産館のイベント(せんべいやき)に参加しました ・訪問理容、訪問歯科の利用</p>		
42	<p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>			<p>・まだ開催していない運営会議などを通じて地域包括支援センターとの協働をしていきたい</p>
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>・いままでのかかりつけ医から内服薬を出してもらっている ・受診する日を家族より連絡をもらい受診できる様準備し、病状等家族に伝えるようにしている</p>		

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>・理事長が認知症に詳しい医師なので指示や助言を仰いでいます</p>		
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>・ケアモール内の看護職員に相談したり助言を求めたりしている又、医療対応(けがのガーゼ交換など)をしてもらっている</p>		
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>・入院時には本人のADL等を記した介護サマリーを医療機関に提出している</p>		<p>・入院時、職員が面会に行き利用者が不安なく治療できる様に支援していきたい</p>
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>・食事量の低下時にはご本人の好む物をご家族に持ってきてもらう ・必要に応じ受診をお願いする</p>		<p>・利用者と家族の望むケアを把握し穏やかに過ごせる様支援していきたい ・看護師職員を雇いたい</p>
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>			<p>・利用者、家族の望むケアを職員が把握し医者等と相談し、穏やかに、終末期を過し満足できる最期を迎えられる様にしたい</p>
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>・入居されている方で移り住む方がいながったので行っていない</p>		<p>・今までの記録、安心できる言葉かけなどの情報を提供し、必要であれば訪問し新しい場所でも安心して過せる環境作りに協力していきたい</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	・個人の記録は事務室内にて管理して他者に見られないようにしている ・個人情報保護法に基づき全職員が秘密保持をすべき署名をしている ・個人個人の尊厳を尊重し人前での排泄介助や傷つける様な声掛けはしないなど言葉使いに気を付けている	
51	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	・なにを表したいのか理解し、うまく表現出来る様にポイント言(一部介助)などをして工夫している ・常に利用者との会話の中で利用者の希望や関心、好みを把握し利用者自身が選びやすい様に声かけをしている	
52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・特別に職員側の決まりごとが厳しくないで利用者の自由に生活出来る様にしている ・買い物、散歩など本人の希望にそって支援をしている ・その他、日々の生活の中で利用者の体調やいままでの生活習慣に合わせ生活ができる様にしている	
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	・定期的に訪問理容を行っている ・ご本人の希望があつた際はご家族に付き添いしてもらう	
54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と一緒に準備や食事、片付けをしている	・昼食時、一緒に盛り付けを行っている、又、お米とぎをしてもらっている ・行事ごとに季節感のある食事を提供している ・簡単なおやつ作りを一緒にやっている	
55	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	・お酒の好きな方はご本人希望時に晩酌している ・一緒に買い物に行き好みの物を買って食べている ・入居できない条件に喫煙される方がいる	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	<p>気持よい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個々で自力排泄の方が多いためにはないが排便が気持ちよく出来る様に工夫はしている(オリゴ糖使う)(西ユニット) ・又れが多い方等ために声かけを行っている ・入院中は紙パンツ使用したが又れがない為ご本人様と相談の上、肌着対応としました(東ユニット) 		
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な曜日は決まっているが本人の希望があれば決まった日以外でも入浴できる ・冬至にはゆずを浮かべている 		
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の時間で就寝・起床をしている ・自室の温度も利用者に確認し調整している 		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>利用者それぞれ好きな事を生かして役割をしている。例) 器を洗う、カーテンの開閉等、お米とぎ、洗濯物たたみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・散歩にでかける ・トランプ、カルタ、百人一首、囲碁、リハビリ体操など 		
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・お小遣いを預かり、ご本人の希望時に一緒に買い物に行っている ・希望する人は本人に持たせお店で支払い、おつりの受け取りを行っている 		
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本人希望時等に周辺を散歩している ・本人の希望で買い物に行く 		
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外食や車を使って、少し離れた場所にある公園など行っている 		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・ご本人より希望のある際は電話をしている ・郵便、小包、自由にやり取りをしている ・荷物が届いた時、お礼の電話をかけるよう促している		・年賀状を書きたい入居者様がいらしたが住所録がないとの事で断念された。今後、ご家族の協力を得て、住所録を取り寄せたい
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	・いつでも訪問が出来るのご家族に伝えてある ・面会時は好きな場所でもらい食堂で話される時は職員や他利用者も混じり、お茶を飲みながら楽しい会話になるようにしている ・ご家族の希望も聞きキッチン等も家族が利用出来る様になっている		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・利用者はフロア内自由に行動している		・身体拘束をしていなくても身体拘束に関する内部研修に参加し理解を深めたい
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・各ユニット出入り口は時間並びに利用者様の状態によっては鍵をかけているが可能な限り職員付き添いの中で、外出している		・表情や言動などで外出したくなるのがわかるようになってきたので日中鍵をかけないですむ工夫を今後も考えていきたい
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	・一目で利用者が見える位置で見守りし離れる時は他のフロアの職員に声かけし常に安全見守りをする様心がけてる ・夜間は居室からの出入りがわかる場所で記録等を行っている		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	・異食行為のある利用者の方にはご家族の理解を得て居室内には危険物を置かないようにしている ・自傷行為のおそれがある為包丁は利用者様の手の届かない場所へ保管しているが他の物は置きっぱなしにしないことを徹底している		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	・ひやりはっと報告をし事故を未然に防ぐようにしている		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	・救急救命講習を当施設で実施しました		・定期的に勉強会を行いたい
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	・委員会を中心におこなっている ・7月避難訓練を行った		消防署立会いのもとでの訓練はまだ行っていないので行いたい
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	・ご家族面会の際に起こり得るリスクについてはお話ししています		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	・1日2回(朝、夜)バイタル測定を行っている ・発熱ある際は再検し、必要な対応をしている ・記録、口頭での申し送り・日々の顔色をチェックしたり(視診)会話をしながら握手をし熱を感じたりしている(指診)		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・一人ひとりの処方箋を確認・臨時薬が処方された場合、ノート、口頭での申し送り ・降圧剤を服用している方などのバイタル把握 ・薬を管理し服薬時には、手渡しし、袋に残っていないか、床に落ちていないか確認・自分で出来る利用者様には開封してもらい飲み込むまで見守る		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かさず働きかけ等に取り組んでいる	・乳製品を召し上がってもらう。毎日1人200mlの牛乳 ・体操やレクリエーションで体を動かす ・水分チェックを行っている		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	・声かけをして行ってもらう ・ご自分で出来ない方は介助する		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・毎食事、10時、15時に水分を提供している。その他、希望時に提供している。お茶がすすまない方に関しては、牛乳等で水分を摂っている ・その方に合ったカロリー、塩分制限等している ・各利用者食事リストに毎食の摂取量を記入している 		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	<ul style="list-style-type: none"> ・配膳されてから2時間以上経ったものは処分している ・インフルエンザ等にかかった方の食器は別に消毒している ・インフルエンザ予防接種(利用者、職員) 		内部研修に参加し知識の向上を図っている
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・消費期限を確認 ・調理器具は食器乾燥器を使っている ・専門調理業者が入っている 		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関が広く入りやすく設計されている ・気軽にお声かけや少しでも接点を持つ為に入居者が広告等で折ったごみ箱を入り口前に置きご自由にお持ち帰り頂ける様案内をした 		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・気持ちよく使える様衛生に気を付けている。(こまめに掃除) 		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニット間を自由に行き来出来る様にしたり自由に過ごせる様にしている ・フロアーの角にソファを置きくつろげる様又、利用者同士が会話を楽しめるようにしている 		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・自室は以前暮らしていた様に馴染みの物とすごしていただく様にしている ・家族・本人で好きな物を置いてもらっている ・入居前の説明で不安感を少しでも和らげる為に使い慣れた馴染みの物を持参して頂けるよう説明している		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	・毎日、朝食で自室を離れた際、窓を開け換気に努め利用者の確認をとりながら自室温を決めている		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・居室、浴室、トイレ等に段差がなく出入りしやすくなっている ・廊下に手すりがある ・車イスで移動ができる		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	・パニックにならない様、声かけ、一部介助等である程度の自力を促す様している ・どこに混乱しどんな事を失敗しているのか把握し職員同士話し合いをし自立した生活が送れるようにする(紙に書いてはる)		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	・洗濯物を干す事ができる ・玄関先で鉢植えの朝顔の手入れ、水やりを日課としている利用者もいた		・プランターで植物を育てたい

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に つけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・くもん式の学習療法を取り入れ認知症の維持・改善に努めています。